

技術懇談会会員各位

平成 27 年 1 月 8 日
一般社団法人東京高専技術懇談会
会長 濱田和幸

専攻科特別研究発表会・懇親会のお知らせ

初春の候、貴社いよいよご清祥のこととお慶び申し上げます。さて東京高専では、毎年恒例の専攻科特別研究発表会・懇親会が以下の予定で開催されます。

この行事は、東京高専との共催行事であると同時に、東京高専技術懇談会として年間で最も大きなイベントとなっております。

参加ご希望の方は別紙参加申込書に記載の上、1 月 23 日（金）までに、技術懇談会事務局までメール又はファックスで送付ください。

記

日 時：平成 27 年 1 月 31 日（土）
特別研究発表会 9：00～17：00
（発表会の詳細なスケジュールは別紙を参照ください）
懇親会 17：30～19：00

場 所：発表会場 東京工業高等専門学校 5201 教室（5 棟 2F）
懇親会場 学生食堂

その他：発表会見学者の費用負担はありません。
懇親会参加者は@2 千円申し受けます

以上

参加申込書の送付又は本件に関するご連絡は以下までお願いします。

東京高専技術懇談会事務局（担当：佐々木）
FAX：042-668-5274
メール：info@gizyutsucon.com
携帯：080-5095-5935

申 込 書

東京高専技術懇談会事務局（担当：佐々木） 行

1 月 31 日に開催される専攻科特別研究発表会・懇親会に参加します。

参加者名	所属部署	メールアドレス	発表会	懇親会

参加される箇所に○をつけてください。

会員名

切り取り線

発表会の具体的なスケジュール

時間	所属	学生氏名	特別研究題目
9:15 ～	AS	越智 啓文	CFRP製スプロケット歯先部ひずみの実験的解析
9:28 ～	AS	清野 大樹	自走型6自由度モーションベースを利用した力覚呈示に関する研究
9:41 ～	AS	平 直樹	エピタキシャル成長によるマイクロテクスチャ面の創成
9:54 ～	AS	高松 歩未	応力聴診器を用いた欠陥検出に関する基礎的検討
10:07 ～	AS	福田 昌了	波動逆解析による材料内部の欠陥可視化システム
休憩			
10:25 ～	AS	藤本舜太郎	自動きさげ加工機を用いた定盤面仕上げと仕上げ面の性能評価に関する研究
10:38 ～	AS	古川 英典	培養神経細胞の神経突起の伸長方向制御
10:51 ～	AS	細川 聖	ハプティック技術を応用した血管穿刺シミュレータに関する研究
11:04 ～	AS	三原 純一	マイクロスケールにおける摩擦特性
11:17 ～	AS	山川 史	車いす型自律移動ロボットの試作と走行実験
休憩			
11:35 ～	AS	荒川 智洋	低速・長距離通信を実現するスペクトル拡散を応用したキャリア位相補償技術の検討
11:48 ～	AS	浦瀬 裕基	広域センサーネットワークに適した多元接続方式の検討
12:01 ～	AS	大泉 明弘	情報ハイディングを用いた防災放送に関する研究
12:14 ～	AS	野島 幸大	Kinectを用いた肢体不自由者向け腕トレーニングシステムの開発
昼食			
13:27 ～	AS	星合 拓馬	可視光通信を用いた省電力照明システム
13:40 ～	AS	三島 陵亮	完全相補系列を用いた音声データハイディングにおける誤り訂正符号の導入
13:53 ～	AS	橋積 裕紀	英語プレゼンテーションのための音声学習支援ソフトウェアの開発
14:06 ～	AE	大隅 竜太	低ひずみ出力を実現できる新しいマルチレベル変換器に関する検討
14:19 ～	AE	小川 芳光	タッチパネルを用いたパーソナライズ可能なユーザーインターフェースの研究
休憩			
14:37 ～	AE	久保井 悠	軸2慣性系のための位置決め制御系設計
14:50 ～	AE	島貴 雅也	新材料MEMSセンサ開発に向けた基礎研究
15:03 ～	AE	鈴木 与海	自律移動ロボットののための位相限定相関法を用いた路面画像による移動量計測
15:16 ～	AE	多田 昂介	自律走行ロボットののためのテクスチャ特徴量を用いた画像解析の検討
15:29 ～	AE	前田 智祐	移動物体検出のための近似ガウスモデルを用いた背景推定法
休憩			
15:47 ～	AE	三浦 輝紀	化合物半導体GaTe薄膜の作製とデバイス化へ向けた基礎研究
16:00 ～	AC	倉澤 裕己	フミン酸に対する銅イオン結合の温度依存性の解析
16:13 ～	AC	島袋 将弥	海産生物Artemia salinaに対する金属毒性の環境因子の変化に伴う毒性傾向の解析とスペシエーション解析による海水成分中の毒性発現に関与する金属イオン種の検討
16:26 ～	AC	田中 一光	鉄存在下における硫酸還元菌の活性の測定
16:39 ～	AC	羽生 真也	Cr ₂ O ₃ /Pb ₂ Ru ₂ O _{7-δ} コアシェル助触媒を担持したGa _{0.9} N _{0.1} ZnO可視光応答型光触媒による水の分解

注 ASは機械情報システム工学専攻、AEは電気電子工学専攻、ACは物質工学専攻です。